

全員協議会会議録

(質疑応答のみ)

令和3年12月13日

(開会宣言 午前9:57)

議長

皆さんおはようございます。

(挨拶)

それでは、町長、挨拶をお願いします。

町長

(挨拶)

議長

それでは、ただいまから全員協議会を開催いたします。

本日は仲罵議員が欠席されております。

説明のため町長、副町長、教育長、総務課長、健康福祉課長、子ども・子育てサポートセンター所長、土木建築課長、関係課参事、課長補佐、室長の出席を求め、職務執行のために議会事務局長を出席させております。

本日の案件は、健康福祉課から新型コロナウイルスワクチン接種について、土木建築課から美浜町地域づくり拠点化施設(道の駅)整備事業の一部変更についての2案件でございます。

初めに、健康福祉課から新型コロナウイルスワクチン接種についての説明を求めます。

健康福祉課長

(詳細説明)

議長

ただ今の説明に関し、質疑はございませんか。

河本議員。

河本議員

混雑するときの対策なんかもしっかり考えられとるんで、今の説明で大方納得はできるんですけども、やっぱり混合接種への不安ですね、これが相当あるんじゃないかなと思います。今までファイザー打っていて、特にモデルナはモデルナアームとかの問題がマスコミとかでも騒がれていますし、そういったところへの不安というのは町民の中でたくさんあるんじゃないかなと。そういったところもいろんな広報などを通じて周知されるということなんですけどね、相対的にはファイザーなくなったらもうモデルナは打ちたくないなっというように感じて率が下がってくるんじゃないかなというふうに感じてますけども、その辺をどう解決するのかということが非常に行政としても重要なところになってくるのかなと思うんですけども、いかがでしょうか。

健康福祉課長。

健康福祉課長

こちらに関しては、先ほど説明をさせていただいたとおりなんで

すが、とにかくいろいろな情報が流れておりまして、町民様方には、確かに混合接種の不安というものがあると思いますし、ファイザーのほうを選ばれる方も多いのかなというふうには思っております。

今、現状としましては、町のほうとしましては、国が示す、きちんとした正確な情報を町民さんに対して分かりやすく説明していくより仕方ないのかなというふうには思っておりますが、引き続き、広報等には十分力を入れていきたいなというふうに思っております。

議長
山口議員

山口議員。

今の形でですね、モデルとファイザーと先ほどの4ページでは、数はほとんど半々という感じで、美浜町自身が先ほどの河本議員もおっしゃったような感じで、美浜町の中ではやはり1回目、2回目をファイザーとモデルナというのは大体半々ぐらいで使いはったんか、それかファイザーがほとんどやったのか、こういう感じでいえば、ファイザー、ファイザー、ファイザーの3回目になる人もおれば、ファイザー、ファイザー、モデルナってなる人もおるっていうのは、これはある部分では行ってみないと分からないみたいな感覚でしょうか。その辺は、仮に言うたら、わし、ファイザーやったらいいけど、3回目、モデルナやったら要らんでというようなことも、これはそれぞれの思いなんでしょうけども、町とすれば、今、半々の数があって、もうファイザーないんです、もうモデルナでお願いしますっていうような、そんな感じで振り分けするのか、どっちなのかと思ましてね、だから、町全部が半々で打ってたとすれば、モデル打ってた人はもうファイザーしてくださいっていうふうに言い切れるのかどうかということをちょっと聞かせてもらいたいな、分かればですよ。お願いします。

議長
健康福祉課長

健康福祉課長。

町でしております町内の医療機関の個別接種、それからハートピアでの集団接種につきましては、1回目、2回目両方ともファイザーを使用しております。職域接種なんかにつきましては、モデルナを1回目、2回目使用している方が多いというふうに聞いています。

議長
山口議員

山口議員。

私もファイザーを使ってるっていうのは前からその人に聞いておるんですが、いわゆる混合接種になるっていうふうなことで、い

ファイザーを使わずにモデルナにならなあかんというのはその場所に行かないと分からないのかっていうことを聞きたいんですよ。

議 長
健康福祉課長

健康福祉課長。

薬につきましては、中身も量につきましても全然違いますので、町としましては間違いのないように、ここの会場につきましてはファイザーの会場、ここの医療機関についてはモデルナの会場ということで、今のところ分ける予定をしております。特に予約時にどここの医療機関のモデル、それから、どここの医療機関はファイザーというふうに選べるように設定をさせていただく予定をしております。自分で選んで、そのときに応じた枠の中で選んでいただくということになります。

議 長

ほかにありませんか。

辻井議員。

辻井議員

先ほど課長の何番目かというのを聞き取りにくかったんですけども、17市町のうち美浜町は何番目ですか。

議 長

健康福祉課長。

健康福祉課長

県内17市町の中で上から8番目でございます。

議 長

辻井議員。

辻井議員

それとですね、今、7,500人近くあるんですけども、病気と持病等で打てない方、接種できない方、また私は接種しないよという表している方もおると思いますが、その辺のニーズというのは把握してますか。

議 長

健康福祉課長。

健康福祉課長

こちらの接種につきましては強制ではありませんので、体の御都合でどうしても打てない方、それからどうしても打ちたくない方っていうのも一定量の方がおられるのかとは思っておりますが、その辺につきましては強制ではありませんので、お願いいたします。

議 長

辻井議員。

辻井議員

分かりました。

それと、今、接種証明書ですね、これの件で発行していくという国の考えもあるんですけども、町としても国の考えにのっとってやっていくと思うんですけども、この接種証明書については何か話しされてますかということをお願いします。

議 長
健康福祉課長

健康福祉課長。

国が進めておりますワクチン接種証明書のことによろしいでしょうか。

国のほうはワクチン接種証明書専用アプリのほうで今月20日頃から発行するというふうには言っております。こちらはスマートフォンの画面のほうに、接種日であるとかワクチンのメーカーであるとかを表示するものなんですけど、アプリのほうでワクチン接種記録システムという分野ベースというものがあるんですけども、そこに登録されました個人の接種歴をオンラインで参照しまして、スマホ画面に表示するといったような仕組みであるというふうに聞いております。こちらのほうは本人証明のためにマイナンバーカードが必要となってくるということも聞いております。

議 長
辻井議員

辻井議員。

今の最後にマイナンバーカードが必要やということで、それとやはりアプリとスマホからの証明書になってくると、高齢者の方とか、そういう方、アプリから登録するというような苦手な方もたくさんおるとお思いますので、その辺の指導について、また要請なり、区を通じて、役員を通じてできるような体制づくりというのが必要じゃないかと思っておりますけど、その辺いかがでしょうか。

議 長
健康福祉課長

健康福祉課長。

接種された後には接種済み書というのを本人様にお渡しをしております。その中でなくされた方もおられますので、そういう方につきましては、役場のほうに紙で申請をしていただくと再発行もできるということで、既にもう何人かの方が再発行をされておられる方もおられます。

議 長
高橋議員

高橋議員。

ファイザーとモデルナの話なんですけど、美浜はみんなファイザーということで、私は子供たちが兵庫県にいて全員職員なんですけど、モデルナをやったんですけど、こちら職域はモデルナなんですけど、副反応等はほとんど変わらなかったですよ。

混合接種ということ、今、話題になってますけど、報道によると、混合接種したほうが抗体の獲得が進むというような情報もございますので、私はそれはほとんど心配していませんけども、住民の

方がどれほど理解していただけるか、そのところは注意してPRしていただきたいなと思いますね。

もう一つ、2月から5歳から11歳に引き下げたワクチン接種をするってことですけども、このワクチンは今まで大人がやったやつとは違うんですっていう話がありましたけど、仮に間違えて大人のワクチンを子供にやると大変なことになるんでしょうね。薬は大丈夫だろうと思うんだけど、その辺の何か情報をつかんでおられますか。

議長 健康福祉課長。

健康福祉課長 小児用のワクチンにつきましては、大人に打つ量と違うということになっておりますので、接種会場、それから日にちにつきましては全く別の場所で打つということを、間違い防止のためにそういうふうにしていこうというふうに思っております。

議長 高橋議員。

高橋議員 ワクチンそのものは同じで、接種の量が違うというだけですかね。

議長 健康福祉課長。

健康福祉課長 ワクチンも別々ですし、希釈の量とか、あと注射器で吸う量とか、そういうのも全て大人とは違うということです。

議長 ほかにありませんか。

ほかにないようですので、これで新型コロナウイルスワクチン接種についての質疑を打ち切ります。

すぐに土木建築課から、美浜町地域づくり拠点化施設（道の駅）整備事業の一部変更についての説明を求めます。

土木建築課長。

土木建築課長 （詳細説明）

議長 それでは、ただいまの説明に関して質疑はございませんか。

河本議員。

河本議員 今、説明いただいた内容が議案としてまとまってくるのは2月の臨時会とか3月の定例会とか、いつ頃になるんでしょうか。

議長 土木建築課長。

土木建築課長 まず、費用は変わるもの、債務負担行為の変更になるものにつきまして、中に整理するものが確定してから議案として出させていただいているということにしております。

日程につきましては、太陽光パネルですとか、こういうものにつきましてまだ入札が終わっておりません。物によっては来年度になるものがございますので、それが終わってからになるかと思っています。

議長 河本議員。

河本議員 来年度ということは、僕は年度内にやらなあかんのかなってちょっと思っと思ったんで、3月には出てくるのかなと思ったら、来年度になることもあるということやね。

議長 土木建築課長。

土木建築課長 今、SPCと町で事業契約を締結しております。その事業契約の中では、当初、令和3年度中に支払いをまず1回目が始まるという契約になっております。しかし、完成化した後の支払いということになりますので、その部分の変更が生じますので、その事業契約の変更に関します議案は今年度中に提出させていただく予定となっております。

議長 河本議員。

河本議員 議会はですね、美浜町の地域づくり拠点化施設の特別委員会を持つとるんですけども、そこをぶっ飛ばして全員協議会でこういうことが言われているということなんですけども、特別委員会の存在、忘れてないですよ。

議長 土木建築課長。

土木建築課長 決してそのようなことはございません。次からはしっかりと特別委員会の皆さんにもお話しさせていただきたいと思っています。

申し訳ございませんでした。

議長 河本議員。

河本議員 詳細な審議はそこでもやっていけるので、鋼材の延期とか、EVに関しても一体どこの事業者がやるのかというところも気になることなんで、詳細は特別委員会での審議に任せたいと思っています。

町長 ほか、ありませんか。

辻井議員。

辻井議員 ガソリンスタンドの件です。

今、課長の説明で町内のガソリンスタンドとの売上が合わなんだということで、まだ今2021年ですから、2035年までに14

年間ありますけど、どれだけ電気自動車が普及するかということの問題です。まだまだ10年ぐらいはやはりガソリン車がほとんど占めるんでないかと思うんですけども、その間に道の駅はまびより入ったときですね、やはり車に給油できるのとできんのと大分差があると思いますけども、EVスタンドを造ったとしてどんだけの需要供給ができるのか、需要やらね、あるのかというのは想定されてますか。

議 長

土木建築課長。

土木建築課長

まず、ガソリンスタンドにつきましては、現状でもとんとの経営を維持するのに非常に難しいと言われていたところでございます。この先、EV進むことによりましてガソリンの消費自体がまた下がることが見込まれておりまして、ガソリンスタンドとしての経営は難しいということが言われています。

今、議員おっしゃられましたEVの損益分岐みたいなどこになるのかなと思うんですけども、それに対しましては高圧の電気で供給する場合、1日当たり十数台、低圧で供給する場合は6台ないと収益が上がらないと言われていています。

この道の駅につきましては、各ほかの道の駅におきましてもそれぞれEVスタンドが設置されておりまして、車が通行する場所におきましては、必要な施設と思われれます。

議 長

辻井議員。

辻井議員

分かりました。

やはりガソリン車もまだ継続していかれますし、急にEV車になっていくことはまだ考えられません。スタンドについてはEVでいくという方針に決まったんで、これでいいと思いますけども、やはり道の駅を利用する人に不都合がかかるといけなんで、インターチェンジでもやってる場合もありますし、その辺のことも一度考えてみたらどうかということです。

議 長

副議長。

副 議 長

今のガソリンスタンドの件なんですけど、先ほど説明がね、社会情勢の変化でEVスタンドにして、ガソリンスタンドはやめるといふふうにおっしゃったんですけど、一番最初にやっぱり経費節減と違うんですか、建設費用の。

議 長

土木建築課長。

土木建築課長

確かに、結果的に経費節減にはなりました。おっしゃるとおりでございます。しかしながら町内の業者さんに入っていただく話を進めた上で、町内の業者さんが入っていただけなかったというのが一番大きいところでございますし、また、この社会情勢としてガソリンスタンド自体が経営が難しいということも見込まれる中で、E V スタンドにシフトさせていただいたということでございます。

議 長

副議長。

副 議 長

そのところではっきりね、理由のところでは経費節減ということがある程度の比率を占めているんであったら、そこはちゃんと説明してほしいなという気はするんですね。

先ほど辻井議員が言われたように、E V はもちろんこれからどんどん進むでしょうけど、まだ軽でE V というのはありませんよね、計画はしてますけど、各メーカー。充電式のP H V というやつも軽ではまだないわけです。するとね、ほとんど使わないやろうと思いますよ、しばらくの間はね。

オープンするのは再来年の春でしょう。そこでどれだけE V の需要があるのかなって、美浜のその駐車場にも1個ありますけど、使ってる姿は本当にまれですもんね。だから、E V スタンド造るのはいいんだけど、できたらガソリンスタンドが欲しかったですねという希望というか意見だけ申し上げます。

議 長

ほか、ありませんか。

町 長

町長。

ガソリンスタンドとE V についていろいろ御質問等をいただいております。計画当座は、カーボンニュートラル2050年という大きな動きがない時点でありまして、去年の10月にそれが表明されて以降、ここでも理由の一つとして出品をさせていただいておりますけども、新車の導入を連動化していくという大きな流れがあります。それが一つ。

もう一つは、美浜町はエネルギーと共生するまちづくり、これはエネルギービジョンをつくりながら、こういった車の電動化についてもしっかり政策として取り組んでいきたい、そういう思いがございます。そういったことから、当然、ガソリンスタンドというのは

まだまだ需要があるというのは認知はしておりますけども、これから将来をにらんだときに、この時点でしっかりEVスタンドを造りながらエネルギーと共生するまちづくりの一つの旗印のとして展開をしていきたいというふうに考えてます。

特に、新車の電動化は2030年、35年いろいろ100%で言われておりますけども、今現在、電動化が進んでない一つの大きな要素としては、EVスタンドが足りない、時間がかかり過ぎる、スタンドを造っても、はっきり言って今ペイできてないというのが現状らしいです。全国に今3万カ所ありますけども、更新を迎えた、そういう施設は更新せずにじり貧になって下がりぎみです。そういったところをやっぱり我々そういうビジョンを掲げている町としては、流れをしっかりと検証していくために、今回それを展開をしていくというような提案をさせていただいたところであります。

ガソリンスタンドにつきましては、町内にも業者さんがございます。しっかりまさかのときのための対応ができるような方法についても並行していろいろとまた御相談をしながら対応させていただくことが必要かなというふうに考えておりますので、その辺のところをいろいろ御意見をいただけたらなというふうに思っております。

よろしく願いいたします。

議長 ほかにないですか。

松下議員。

松下議員 EVのスタンドについては、私はそれでいいのかなというふうに思います。

普及度の問題もありますが、ガソリン車の件に関しては地元の民間の事業者も経営をやっておりますので、私の意見としては、現行でいいかなというふうに思っています。

もう一つ聞きたいことは、オープンの日ってというのは、令和5年の春ということに決まっている。これはほぼ間違いないんでしょうかね、大体1年ぐらい延長になったと思うんですが。

議長 土木建築課長。

土木建築課長 令和5年春のオープンを受けてまいりたいと考えています。

議長 副議長。

副議長 4項に付加施設の追加工事についてってございますけど、これは

当初から計画はあったんでしょう。こういうものをつけますっていうのは説明を受けましたよね、今回ここに出てる意味というのは、この資料の中の4項としてこういう項目が書かれているのは、どういう位置づけというか、再確認ということですかね。

議 長

土木建築課長。

土木建築課長

確かに、太陽光発電蓄電、こういうものはもともと当初から計画はしておりました。しかし、これの維持管理費というのが決定しないことには明確になりませんので、それは今後、債務負担行為の増額の保留となりますので、それをあえてここに上げさせていただいたものでございます。

議 長

副議長。

副 議 長

僕は債務負担行為だとかいうものもこういう計画がおおむね概算含まれてるといふふうに思ってたので、それを膨らませるといふか、これは追加になるので金額が変わりますということここでここに載ってるんですか。

議 長

土木建築課長。

土木建築課長

太陽光とかにつきまして、計画はございましたけども、最初の債務負担の中には入っておりませんでしたので、それをここで挙げたというものでございます。

議 長

副議長。

副 議 長

分かりました。

議 長

ほか、ありませんか。

辻井議員。

辻井議員

せんだって、関西電力の要望で事業訪問でちょっと行ってきました。それで、近くで道の駅できるから、関電さんも地域へ行くといろいろな振興で何かできないかということで当たりました。そして、道の駅の建設の中に関電の人もスタッフとして入っていることもお聞きしました。それで今のEV関係のスタンドとかエネルギーの関係とかいうのも関電さんにもちょっと要望しておいたほうがいいんじゃないかと見ていますので、意見しておきます。

議 長

ほか、ありませんか。

河本議員。

河本議員

町長は道の駅建設で24億円とか27億円とかいう。

議 長 ちよつと待ってくださいね。

議 長 土木建築課長。

土木建築課長 先ほど辻議員がおっしゃられました関電さんの職員が道の駅のスタッフに入っておられるというお言葉がありましたけども、そういうことはございません。

議 長 辻井議員。

辻井議員 この間、関電のほうへ、事業本部のほうへ要請に行ったときには、関電側からは中へ入ってるという発言がありました。

議 長 土木建築課長。

土木建築課長 スタッフといいますか、計画の検討の中は関電さんも入っておられたと伺っております。

辻井議員 たしか、初めのそれには入ってるということ。

議 長 よろしいですか。

では、河本議員。

河本議員 当初、道の駅建設の概算ですね、土地の購入とかも含めて24億円とか27億円とかというふうな概算が示されてましたけども、今回、建設費の増額とか今の施設の計画とか、合わせて概算が幾らぐらいになるのか示されると思うんですけど、当初の予算からどれぐらいの概算になったのかというのが、多分、皆さん知りたいところだと思いますんで、そういったところはしっかり示していただきたいと思います。意見です。

議 長 よろしいですか。

ちなみに、二十数億円もしなかった記憶があるんですけど、そのままで通してよろしいですか。

土木建築課長。

土木建築課長 債務負担行為は建設費で約17億円ほど、そして、あと12億円、管理費で5億円、計17億円、債務負担ということでさせていただいております。土地を入れると24億円です。

議 長 そういう理解をお願いします。

ほか、ありませんか。

ないようですので、ただいまの美浜町地域づくり拠点化施設（道の駅）整備事業の一部変更についての質疑を打ち切ります。

また、特別委員会でしっかりと議論していただければ結構かと思

います。

それでは、その他で追加事項として、国の予算に伴う町の予算の専決処分等について、総務課長から説明を受けたいと思います。

総務課長。

総務課長
議長

(詳細説明)

ただいまの総務課長の説明に関して何か質疑はありませんか。

山口議員。

山口議員

ちょっとどういう思いかなということ聞かせてもらいたいんですが、子育てのやつで5万円の支給し、また後に5万円のクーポンというような話でございます。国のいろいろな報道から聞きますと、二度目の給付が5月か6月ということで、子育ての学校のというものの多分間に合わないでしょうというふうな方向的に聞くんですけども、そういうことから、僕もあっちこっち子育て世帯の人にお伺いをして回ったんですけども、「どう思う」って言ったら、クーポンは悲しいかな美浜町とか全国で使えるクーポンなんか、どういうクーポンなんか知らないから分からないですけど、物すごく使い勝手が悪いと。やっぱり子育てのところにしておっしゃってければなら現金が一番いいよねって、これは当然そうなのかもしれないですけど、隣町も現金支給にすると決定されているように聞くんですけども、美浜町とすれば、そういう部分のいろんなそういう現金のほうありがたいということっていうのはどういうふうにお考えですか。思いがあったらちょっと聞かせてください。

議長
総務課長

総務課長。

今回の5万円のクーポンにつきましては、本当にマスコミ等で騒いでいますけども、現金にするのか、クーポンにするのかということで、今、国から示されてますのは、6月末までにクーポンが発行できない市町村については現金もありかなという話でございます。その辺の具体的な基準というのはまだ示されておられません。大事な基準が示されたら、町としても、先ほど申し上げました子育て世帯にとって本当にどちらが有益なのか、その辺を十分検討させていただいて取り組んでいきたいというふうに思っています。

議長
山口議員

山口議員。

早うしてあげたいなというふうに思うんですけども、まだ美浜町

だけが何か配備してないという、返事というか、意思表示してない
というのを聞いたんですけど、これは本当かどうか知りませんよ。
美浜の場合は現金にするか、クーポンにするかというのは意見を出
してないのは美浜だけやというようなちょっと小耳に挟んだ。定か
じゃないから、僕、今、聞かしてもらおうんですけど、その辺はどう
ですか。

議 長
総務課長

総務課長。

現金にするか、クーポンにするかっていうことですが、先週、福
井新聞のほうにもそういった県内の状況が報道になってございま
すけども、それを見ると、越前市についてはもう現金にするんだと
いうことでしたし、若狭町についてもそういった方向で検討して
るんだということが伝えたと思うんですけど、ほかの市町につい
てはまだ検討中ということでございます。

今、申し上げました、先ほどの具体的な基準というのは示され
ておりませんので、そういった中で、今現在そのように判断でき
ませんので、その辺についての方向性が示されたら十分検討して
いきたいというふうに思っています。

議 長
山口議員

山口議員。

それは分かりました。けどって言い方は反論するわけじゃ
ないですけども、クーポンでするのがいいのか、本当に現金が
いいんだというのをやはり実際に給付していただくものの思い
というものを、どちらかというか、していただくような感じで、
あげるんだからみたいな、そんなことじゃなしに、大変なんだ、
使ってねっていうふうな感じで支給していただくものだと思っ
ておりますので、やっぱり使いやすい、ありがたいと思える形
というのがどれなのかということをお考えいただきたいと思いま
すので、これはお願いしておきます。

議 長
河本議員

河本議員。

私も子育て世帯の臨時特別給付金事業は現金にするべきだと思
ってまして、これは国のほうでも議論になってますけども、ク
ーポン券だと非常に事務経費もかかって無駄だとか特定してね、
入学費とか、それに関わる商品を買わせるためのクーポンでな
くて、やはり事業者を今回支援するものじゃなくて、子育ての
世帯を支援するも

のですから、それはやっぱり教育費、子育てに関わるところで、やはり現金という使い勝手のいいものを給付したほうがいいというふうな私も考えをしております。それに対して、やっぱり迅速性というのもありますし、そういった考え方に基づいたら、やはり自治体の考えで現金給付も可能ということが今後も話が進んでいくと思いますので、その時点ではですね、早急に検証してですね、現金給付をぜひともやっていただきたいというふうに思います。

よろしく申し上げます。

議 長

ほか、ありませんか。

ないようですので、以上で、本日、理事者からの案件についての協議は閉めさせていただきました。

理事者の方はこれにて退席いただいて結構です。

お忙しい中、ありがとうございました。

議員の皆様は引き続き協議案件がありますので、そのままお残りください。

次に、最終日に追加議案として、発議第3号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方財源の充実を求める意見書（案）について、梅津隆久議員、辻井雅之議員から提出されることになりましたので、提出者であります梅津議員から趣旨説明を求めます。

梅津議員

（詳細説明）

議 長

ただいまの説明に関して質疑はございませんか。

よろしいですか。

ないようですので、これで質疑を打ち切ります。

ただいまの説明にありました、コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方財源の充実を求める意見書については、最終日に発議第3号で提出され、採択に係る採決となりますので、よろしく申し上げます。

これをもちまして、以上の全員協議会を終了いたします。

（閉会宣言 午前10:36）

全員協議会の経過（質疑応答部分のみ）を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

美浜町議会議長 竹仲 良廣
